



各地で増えている「価格」を強調した畳替え開拓のチラシ

ここ数年、表替え工事を2500円前後で引き受けると宣伝した「格安強調チラシ」の配布攻勢に街場の畳店が苦慮しているケースが増えている。地元で長年、畳工事に専念してきた業者が取引のあった工務店の減

少で畳替え受注が先細りとなり、「テレ・アポ商法や安売りチラシの攻勢で大弱り」と悲鳴を上げる声がり出している。これら畳業者が耳にした話では、安売り広告に応じて表替えをした消費者の多くが「チラシ通りの価格ではなく、言葉巧みに1万円前後となり、畳表も粗悪で、詐欺行為だ」と訴えているものの、大半が泣き寝入りの状態という。

また、各地の消費者センターが「粗悪物件とわかって消費者が泣き寝入りして、業者が多く、これといった対策が取れないことから、現状から、早急な打開策が求められている。

安売り商法の横行に苦慮

イメージダウン 打開策に立ち上がる

ターが受けている畳に関するクレームのほとんどは組合に未加入の異業種の業者が取り扱った仕事で、「組合では指導できないケースが増えている」と組合役員は頭を抱えている。

消費者にとっては「悪くて高い値段」のイメージだけが浸透して、結果的に畳離れを引き起こしている懸念する声が高まっており、和室が減り、洋間が主流となっているなかで表替え需要の開拓が命となっている

ける組合員であることをアピールした「加盟店証」を発行して組合員に店頭表示を促している。同様のケースで悩まされている自転車業界もステッカーで「安全、安心な組合員の店での取引」を訴えるステッカーで対応している。

全日本畳事業協同組合に加盟する畳店は、全国の畳業者の4割弱と組織率の低い業界だが、安売り構成で窮地に追い込まれている業界事情にあつて、組合員が知恵を出しあい、組織で対応することも必要な時代を迎えているといえそうだ。

安売り攻勢の対応には、商品やサービスのクレームを受け付ける地域の行政官庁や消費者センターなどに組合を登録して行政との結び付きを強化して、情報の収集、提供を相互に図っていくことが必要という声も。詐欺行為的な商法の事例を集めて、消費者が安売りに騙されないQ&A的なものを地元紙や地元ミニコミ誌などを通じて情報提供していき、組合の存在感をPRしていくことも一つの考え方。ある組合役員は、「組合でチラシ広告を打つアイデアもあるが、1回やるだけで100万円もかかり、費用捻出は難しい。企画は組合が出し、実行はそれぞれの地域に合った方法で個人的にやってほしい」と話している。

ご注意下さい！

たたみ新聞

週刊 毎週水曜日発行（月4回刊） 昭和38年7月3日第三種郵便局認可
〒300-0007 水戸市中央区大塚777-2000 TEL 026-2211000 FAX 026-2211001
TEL 026-2211014 FAX 026-2211015

2007年（平成19年）2月21日 < 6 >

安売りチラシラシ テレ・アポ商法

の苦情が増えています

チラシ通りの価格でなく、言葉巧みに 高い価格をすすめて・・・、
畳組合・畳材料商に未加入の業者の為、業界では指導出来ません。

埼玉県畳材料卸業組合

ここ数年、表替え工事を 2500円前後で引き受けると宣伝した「格安強調チラス」の配布攻勢に街場の畳店が苦慮しているケースが増えている。地元で長年、畳工事に専念してきた業者が取引のあった工務店の減

多くが「チラス通りの価格ではなく、言葉巧みに1万円前後となり、畳表も粗悪で、詐欺行為だ」と訴えているものの、大半が泣き寝入りの状態という。また、各地の消費者セン

現状から、早急な打開策が求められる。これについて、川崎畳組合（本保優組会長）は、昨年秋の市民祭で「激安畳にご注意を」と呼びかけた看板をイベント会場に掲げて

安売り商法の横行に苦慮

イメージダウン 打開策に立ち上がる



各地で増えている「価格」を強調した畳替え開拓のチラス

ターが受けている畳に関するクレームのほとんどは組合に未加入の異業種の業者が取り扱った仕事で、「組合では指導できないケースが増えている」と組合役員は頭を抱えている。 消費者にとっては「悪くて高い値段」のイメージだけが浸透して、結果的に畳離れを引き起こしていると感じる声が高まっており、また、今年になって三多摩畳業組合連合会（本橋幸男会長）がアウトサイダーと